

隈・竹田地区



【隈の起り】

文禄3年(1594年)に、豊後日田・玖珠2万石の蔵入地代官を務めた豊臣秀吉配下の、宮木豊盛(長次郎)が日隈山(現在の龜山公園)に城を築き、その対岸に開いた城下町が起源です。

慶長元年(1596年)には、後に豊後佐伯藩の初代藩主となる毛利高政によって、現在の町割りの原型が作られたと言われています。当時は、現在の中本町、隈1・2丁目を二重の堀と土塁で囲み、要所に木戸門を設けて朝夕に開閉していたと言われています。



川原町

川原町の山鉾は、平成24年水引幕を120年ぶりに新調しました。睨みあった龍と虎が勇壮で躍動感ある姿に刺繍されており、豪華絢爛に仕上がっています。

見送り『素盞鳴尊大蛇退治』
平成8年(1996年)制作



三隈町

三隈町の山鉾は、町内の皆さんは勿論、町外から協力してくれる方々と一致団結して魂を込めて制作しています。特に提灯の明かりのついた夜の山鉾の趣を皆さんに感じていただきたいと思います。

見送り『龍』
昭和60年(1985年)制作



大和町

大和町の山鉾は、100年以上もの間活躍した山鉾が平成22年に勇退し、平成23年に新調された高さ10mの山鉾です。今年の見送りは、福岡で行われたユネスコ登録記念イベントで全国の人に披露した我有木町(大和町1丁目)の『鷲』です。
豪華絢爛な大和町山鉾と見送りを是非ご覧ください。

見送り『鷲』
明治39年(1906年)制作



若宮町

若宮町の山鉾は、昭和12年に一旦途絶えましたが、昭和54年に復活し、平成25年に新調されました。見送りの獅子に負けない迫力の巡行をご覧ください。

見送り『唐獅子』
昭和58年(1983年)制作

